

めだかの学校だよ

平成 22 年 5 月 1 日
第 68 号
学舎：東久留女木新田観音山
「みどりの郷キャンプ場」内
事務局：静岡県磐田市
家田 529-20
TEL0539-62-6691

校長訓話

第六十八回 校長 服部 守孝

「私の思い」残念ながら恋心のお話ではありません、めだかの学校の施設に対する思いのことです。

私が入学したのはまだ、40 代後半ですが今ではもう老人の仲間入りをしてしまいました。余談になりますが、この、17 年間どんな大工仕事をやってきたのかなと思ひ出しますと、最初に作ったのは講義の残り時間を知らせる告知板、つぎに、そこにあります座卓、受け付け用の机と椅子、管理棟のところの段差解消のための踏み台、めだかの学校の門柱、管理棟の床一部張替え、観音塾の踏み板などがあります。われながら良くやったなと思ひますし、多くの生徒さんに協力いただいたおかげと深く感謝しております。今ではめだかの学校にわか大工さんと

なっていました。これからも私にできることがあればお役に立ちたいと思っておりますのでその折は今まで同様宜しくお願いいたします。

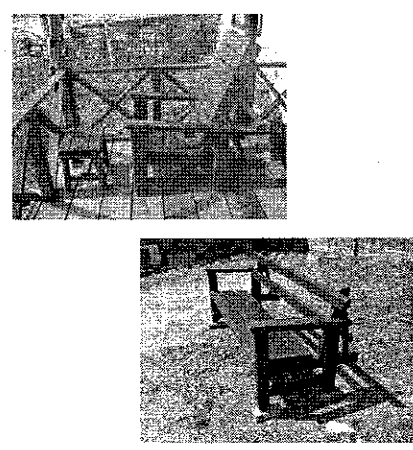
年齢は皆さん平等にとっていると思うのですが、体は平等ではありません。特に足腰が弱ってしまい、長い間座っていることが苦痛となってきました。いる方が多いのではと思ひます。

今では椅子を持参して授業を受けている方が目立つようになってまいりました。私も腰痛で 2 回入院した経験があり長時間床に座ることが苦痛となつています。過去に腰痛で手術をなされた生徒さんは座ることが苦痛で学校を休んでしまったと言っていました。誠に残念です。ここで、私の思ひです、めだかの学校を椅子と机にしたということですが、今すぐ全部とは難しいですが、少しずつ進めていきたいです。他にも施設で修繕したい所はこの観音塾の床が傷んでおり所々ぶ

かぶかしていませんし、軒裏のベニヤがはがれています。また、管理等の男子トイレ排水のつまりなどあります。手に負えないかもしれませんが、これらを少しずつでも直したいです、このみどりの郷がいつまでお借りできるのかわかりませんので多額な修繕費用は掛けるつもりはありません。

まず始めに、床に座るより椅子にしたいと思う方が何人あるいは、何割いらっしやるかにより変わりますが少しずつでも改善したいのです。これにはお金や労力が伴いますが皆さんの協力を得て、足腰の不自由な生徒さん達も登校できるといいですね。

引佐町はめだかの学校発祥の地ですし環境に恵まれたこの学舎をできる限り利用し続けたいのです。



めだかの学校伝言板

——第 68 回めだかの学校を開校するので出席しなさい。
校長／服部守孝
教頭／鈴木偉代
用務員／牛田松雄
給食係／水野忠義・本島慎一郎・大谷洋介・村木謙次
村田徳治・野嶋一男・中村明男・本島真弓
山中幸子・今村純子・渡辺三ツ子(チーフ)
〈学舎〉静岡県浜松市北区引佐町東久留女木観音山
みどりの郷キャンプ場 TEL なし

開校日／平成 22 年 6 月 4 日 (金) 6:20 PM より
受付／大久保陽・村田康助・市川智加子・大場敬子
齊藤昭(チーフ)
〈時間割〉今回のテーマ
「い・い・加・減の三遠南信～浜松・新城・袋井市」
●1 時間目 技術 大谷洋介先生
「ホンダの技術の源泉は・・・たたきあげればこそ」
●2 時間目 社会 田中きみ子先生
「必ず当たります。心掛け次第で・・・なにが？」
●3 時間目 理科 村松孝司先生
「ひき蛙の生態・・・ひき蛙 負けるな 村松 ここにあり・・・」
●給食の時間～旬のご膳～
10:15 閉校

めだかの動き

泳ぎ回るめだかたち

■正士メダカのお茶摘み

&コンサート

4月24日(土)鈴木正士メダカの自宅「大平荘」に、40名以上の仲間が大集合！今年もやってきました「お茶摘み&コンサート」、今回で14回目となるこのイベントもすっきり定着、今年も県内外から参加者が続々と集まりました。顔をれを見れば遠路東京からは菅原敏一メダカ、また村松達雄メダカ、尾上メダカ、水島メダカ、水野メダカ、鈴木真弓メダカ、本間メダカ、本島メダカなどなど、いつものメンバーが大集合。さてさて肝心のお茶摘みは3月下旬の霜凍害でまったく新芽が伸びない状態、また竹の子はイノシシがすべて食べつくしてしまいいちちも全滅、あちこちに大穴があきひどい状況でした。それでもワラビやミヨウガの芽などを収穫し、早速ランチの1品に。正士メダカ&水島メダカは手打ち蕎麦の職人技を披露、昔ながらの石臼で餅つきも行いました。そしてお楽しみ自然の中での大交流会、大平荘前の雑木林の中、探りたての山菜などの食材で作った「馳走や手づくり料理の数々が並びました。これもまた恒例、誕生日順に一人一人が自己紹介、そうこうしているうちに天気も回復し春の陽が差し始めました。そしていよいよ本日のメインイベント「劉揚さんの二胡」の演奏、素晴らしい二胡のメロディーが林の木々に染み入るように響きました。素晴らしい自然と仲間たち、春の一日を楽しく過ごすことができました。

■東三河の視覚障害者就労支援施設を仲間と開所

豊橋市の金子芳美メダカ。障害者施設で出会った仲間と視覚障害者就労施設「陸」の

法人「てのひら」を5月より開所。スタッフは6人。主たる仕事は、名刺への点字印刷、マッソージ、さをり織りなど。将来は障害者就労者も納税者をめざし、心身ともにバリアフリーの先駆者になりたい、と。元気いっぱいの子金子芳美メダカ。みんなも応援を！。連絡先・豊橋市つじが丘3丁目45の18 TEL:0532・62・2523まで。

■天浜線サポーターズクラブに多くのメダカ生

3月15日天浜線サポーターズクラブの設立総会が浜松駅前の静岡新聞浜松プレスタワーで開かれた。多くの設立発起人には、細江町の上嶋裕志メダカ、森町の榊原淑友メダカ、亀澤進メダカ、太田康雄メダカ、磐田市の榊原幸雄メダカらが名を連ねている。経営は誠に厳しいが、天浜線の沿線地域における歴史的、文化的価値と意義は非常に大きい。

昭和15年6月1日に旧国鉄二俣線が全線開通して今年で70年。時代の要請から誕生した二俣線・天浜線。古希を祝って5月29日、30日の2日間、天電二俣駅構内で天浜線フェスティバルが開かれる。

問い合わせは053・925・2276。サポーターズクラブ会員募集中！。こちらは事務局浜松市役所企画課内053・457・2086へ。

■第8回全国まちづくり交流会in北中城とかがり火支局長会議&読者交流会 in伊是名島

第8回まちづくり交流会は、7月2日、4日まで、沖繩県中城村で開催される。2年後は静岡県の森町で手を上げている。もうひとつの「かがり火支局長会議」は、7月1日に沖繩で初めて開催される。まさに全国の強者が集合する2つの交流会。内容については、村松達雄メダカ 0538・

85・4037へお問い合わせを。

■第28回地域づくり団体全国研修交流会青森大会

平成22年11月12日(金)・13日(土)の2日間、青森市を主会場に、弘前市、八戸市、黒石市、十和田市など15会場に分かれて分科会が行われる。

「地域素材を生かしたまちづくりー白神山を抱く森町の再生」(11分科会・鱈ヶ沢町)、「今も生きづく奥津軽のくらし」(13分科会・中泊町)など、地域の特徴を生かした分科会が繰りひろげられる。

こちらは全国各地域づくり団体協議会に加盟している団体を対象にした研修交流会。静岡県は、静岡県庁内経営管理部自治局自治行政課しずおか未来づくりネットワー

ク 054・221・2057。県内では65団体が登録。

■学舎でのお花見は青春だよ

メダカの生徒の皆さん、知っていますか？夜しか来ないから気づかないだろうな。我が学舎は隠れ花見のスポットなんです。よ。知る人は毎年参加しています。花の様子をお知らせします。学舎への沿道60メートルほどの間に樹齢20年以上の八重桜が雑木と共に育っており、時期になるとそれぞれ個性のある花をそと咲かせているのです。伊藤メダカに言わせると「これはすごい！どこでも味わえない感動もこの花だ。」毎年やろうと言つことになっているのです。騒がしい花見が落ち着いた頃に咲くこの八重桜は、参加者を青春気分

にさせてくれるところがやみつきになるのです。見たいでしょう。でも今年も終わってしまいました。運よく見られたのは、牧野メダカ、水村メダカ、伊藤メダカ、石野メダカの4人だけでした。春の山菜に舌鼓を打ち、牧野メダカのコーヒードゥったりと青春を満喫できました。まずは報告ま

お花見メダカより

■秋桜を引佐湖畔に！

今年の気候はジェットコースターか？霜害、冷害生育不良と生産者も消費者も困ったもんだと。でも季節だけは着実にやってくる。柿の芽吹きは今が最盛期だ。引佐湖畔の雑木も一斉に芽吹き、その鮮やかさを競っている。一年中で一番前向きな気分と希望に気持ちが踊らされる時に、この希望が失われぬように「引佐湖畔に秋桜を」咲かせる交流会に参加しましょう。

まず土を作り、種をまき希望を託し、秋まで繋ぎ、一年を築こう。交流では各人の夢や希望を語り、その実現に向けよいヒントをたくさん貯金することから始め、秋桜が花開く頃に実現の窓口が見え隠れしてくるのではという期待をもって参加してみよう。どんなこともでもそうですが、最初はなかなかお尻があがらないものだが、一旦上がってしまうと軽くなるものだよ。

この上げるか、上げないかが損得の分かれ目、楽しくするのも、楽しくないのも自らの行動1つだよ。

「日時」6月13日 日曜日 9時頃から「場所」引佐湖畔南側 花壇の回り「参加方法」 楽しみたい気持ちをもちまくる。多少作業する気持ちも忘れず！食べ物があるとなお心が和むのでは！

菜の花プロジェクトやらまいかメダカ

■開校日を前に学舎をキレイに！

5月30日(日)午前9時から学舎の清掃をします。草刈り、枝打ち、料理場、教室、トイレ等。午前中で終わる予定ですが、お弁当持参でお出かけ下さい！

「人・ひと・ヒト」だより

●浜松市のマクラメ作家の鈴木真弓メダカ。クリエイト浜松3Fギャラリーで開催されている第6回浜松美術協会展(前期)5月4日(9日)・後期5月11日(16日)の前期に出展。この美術展、浜松市と県西部地域で美術活動をする約400名が出展。めだかの便りが届くころには終わっている。ごめん。

●磐田市の伊藤英雄メダカ。いよいよえび芋の植え付け。今年は4月の天候不順もあり、思いは複雑。秋のよりよい収穫を祈って汗を流す。横には石野省三メダカの強力な助っ人が。嬉しいねえ。

●天候不順と言え、めだかの茶農家は大変。早生物は凍害にあってひどい被害。久しぶりに磐田市の市川祐一元メダカが公民館へ来て話した。浜松市の鈴木計芳メダカ、磐田市の鈴木正士メダカ、島田市の池谷俊裕メダカ、黄瀬川はつ枝メダカさんがんばって!!。たくさんお茶飲むようにするからね。

●掛川市のはだしの小作人武ちゃん農園のじゃが芋さんも芽がやられて大変だった。6月のめだかの学校の給食用じゃが芋、こぶりだけごめん、と。

●浜松市の加茂光廣メダカ。5月3日に磐田市の「花咲の庄」で草笛教室。3月には西川裕子メダカの歌声喫茶「トライアングル」で演奏。草笛は楽しいヨ。

●西川裕子メダカと言え、5月9日に磐田市敷地の豊岡東公民館で「い・い・加・減・楽塾」の講座のゲスト講師。館長の榎原幸雄メダカとに楽しくやってくれればいい!!。だって。前回の「い・い・加・減塾」は藤田潤吉・久枝メダカと八木正子元メダカがゲスト講師。いや、楽しかった。そんなこともあって、4月25日の豊岡東

公民館2周年記念「うた」を公民館では、8人構成の浜松花蝶ちゃんを先頭に、参加者全員で会場内をチンドン・ドンドン。いや、マイッタマイッタの大盛況。開会宣言は田村進治メダカ、カレー班は渡辺ミツ子チーフに、伊藤英雄メダカ、村田徳治メダカ、鈴木正士メダカらに、演奏家の人たちも手伝って。めだかの学校給食班のようだった。

●掛川市の水野忠義メダカ。掛川市駅前空き店舗を活用して「この5月にできた無料の掛川お休み処「おいでん家」の接客スタッフとしてお店番。このスタッフ、有志市民グループ「街なか応援隊」として公募したボランティア20名ほど。萩田博メダカもメンバーだ。掛川市にお出掛けの際にはぜひお立ち寄り。水野メダカのダジャレが聞けますヨ。

●浜松市の我がめだかの学校の給食チーフ渡辺三ツ子メダカ。息子さんの経営する会社で大車輪。車のパンパーの板金塗装。腕もよく注文も多しとか。そんな多忙な中、長く給食チーフとして頑張ってくれている。感謝、感謝!!。

●磐田市の小林佳弘メダカ。月刊地域情報誌「三のぼんぶきん」、32年間の歩みの中で近郊各地の史跡や遺跡、寺社を訪れ、書き綴ったかなりの著作の中から、牧之原市相良、御前崎市を起点とし、浜松市天竜区水窪を経て信州に通じる「塩の道」沿線に伝わる次代に残したい話「六〇余話」静岡県内「信州街道」塩の道今昔」をこのほど出版。6月6日には「出版披露と親睦の夕べ」を開く。

●磐田市の三輪邦子メダカ。磐田市の活動推進協議会「いわた市民活動センター」の事務局長をやっていたが、新卒の法人への解散、移行に伴い、新法人「特定非営利活動法人磐田まちづくりネットワーク」の代

表理事、センター長に。管理・運営、益々多忙に。めだかの学校にも行きた〜い、いつ出席できるやら〜と。

●浜松市の山内秀彦元メダカ。(自宅は掛川市)。三のぼんぶきんサポーターネットワーク浜松事務所の住所が、中区常盤町の東海まちづくり研究所内に変わった。またこの4月より「浜松市市民協働センター」の指定管理者に。地域づくり、街づくりに奮闘している団体の皆さんにどんな活用して欲しい。

●浜松市の今井正生元メダカ。久しぶりの近況報告!と。佐鳴湖の汚染に心を痛め、浄化活動に没頭。独自の浄化装置で浄化した水を使って「野点・佐鳴湖茶会」から16年。協力者も得て佐鳴湖生まれの浄化技術「ZONING(アキユイン)」を使って農業分野での研究・実践をつづけている。表面海水を原料とした「栽培用AQUIN水」と、稲ワラ、アシ、チガヤ、スキ、山草が原料の「グリーンヤード堆肥」を混ぜて使用したところ効果抜群だ。ミネラルバランス海水力農法」の確立、実践していきたい、と。興味のある方は、053-458-1700 水力発信所まで。

「めだか春秋」

「日本の森を未来に繋ごう!」
Let's きらめ樹大挑戦!

みなさんは、日本の森と世界の森の現状をご存知でしょうか?

日本の森は一見緑豊かに見えますが、実は「緑の砂漠」と言われ、動物たちの住めない、水を保持する力も弱い痩せ細った森となっていて、放置林・荒廃林が台風や大雨の際に各地で崩れ、大規模な災害に繋がってしまっています。そして世界の森は無秩序な伐採や資源採取が行われ続け、砂漠化や干ばつなどの様々な被害、悪循環の連鎖も起き始めています。

ちよつと前まで私たち日本人は森林と上手につき合い、自然を「神」として大切にしてきました。これは世界的に見ても日本だけの「持続可能な文化」であり、世界に誇ることの出来る文化だと思えます。しかし、そんな貴重な文化も世界の森も、ほんのわずかな間に物質的な豊かさを追い求め続けた結果として崩れ様としています。物的な豊かさも確かに尊い事だと思えますが100年先、1000年先の未来の事を考えた時、今を生きている私たちが未来に残せるものを真剣に考える時が来ているのではないのでしょうか?そして何事にも感謝出来る「心の豊かさ」を見直す時が来ているのではないかと思います。

私達(NPO法人森の緑)が今取り組んでいる「きらめ樹」は、従来の間伐と違い安全に、そして誰もが楽しく自然と触れ合い、森の心地良さを感ずるものです。合言葉は「森の民になろう!」です。みなさんも是非日本の森を蘇らせ、世界の森を守る活動にご参加ください。6月26日(土)全国一斉きらめ樹Dayか全国各地で開催されます。7月31日(土)磐田市豊岡公民館でも、環境学習としてきらめ樹体験を行います。

●追記「めだかの春秋」は、磐田市職員で春野町に住む内田貴久メダカです。

■計報
浜松市中区富塚のフラワーセンター若草の柴田芳明メダカ。今年1月13日に天国へ旅立ちました。享年73歳。「胃ガン」でありながらほとんど苦しまないで亡くなった」と、娘さんの木村智子メダカ。3月6日ご自宅にお伺いし、「ご冥福をお祈りしてきます」。

X X X X X

「追記」めだかの春秋」は、磐田市職員で春野町に住む内田貴久メダカです。

トピックス

テレビ画面から

■岩本伴江メダカがとび出した
3月12日の夕方だったかな。テレビのスイッチを入れたら、島田市の岩本伴江メダカの顔がテレビから飛び出して来た。もうびっくり。3月8日から4月11日まで、自宅のギャラリー「スペースmaya」で、200種類600冊の「しかけ絵本」の展示即売会を開催。この「しかけ絵本展」をSBSテレビが3月12日に取材・放映したものだ。しかけ絵本、ページを開くと絵がとび出したり、動いたり、つまみを引くと絵が動き回ったり、めくったりと、とにかく不思議な楽しい世界に誘われる。中にはつまみを引くと、女性の腰に手が回ったり、チラッとみせてくれたりと、そんなセクシーな絵本も。伊藤英雄メダカ、浜田綾子メダカから大勢のメダカ生がのぞきに、好評で第2弾を7月17日から8月29日まで開催します。お出かけを！。問い合わせは、0547・38・1042へ。

■浜松市ひかりライオンズクラブ

初代会長に水村春江メダカ
「ライオンズクラブ」は世界的なボランティア組織。静岡県内で初めての女性会員だけのライオンズクラブ「浜松ひかりライオンズクラブ」の初代会長に、浜松市の水村春江メダカが就任。4月4日国際協会から「認証状」を受けて活動を開始。会員は会社員や主婦、美容師、会社役員、幼稚園長など20代から70代までの女性37人。月2回の例会を開きながら「結ぼう絆・育く

もう命、ひかり溢れる浜松」をスローガンに、家庭からの温暖化防止、青少年健全育成、婚活を支援するパーティーなどを計画。会員募集中。希望者はクラブ事務局053・457・0181又は水村メダカ053・415・9983まで。

■事務局だより

夏も近づくと八十八夜、ボンボン。新茶を味わいながら「めだかの便り」の原稿を書こうと思っていたら、今年も天候不順でちよつと先だつて。原稿ますます遅れそう。。。

さて、第67回めだかの学校は3月5日、校長山中幸子、用務員野嶋一男の新人に教頭にベテラン徳増兼弘で固めた、はずだが。徳増教頭目の手術で登校できず。急遽伊藤英雄メダカが代役を務めることに。事務局のバラメダカも公用で8時すぎの登校となる。始めに1月に世界した柴田芳明メダカの冥福を折り黙禱。西川裕子メダカの縦笛伴奏で校歌斉唱。教頭先生のお話しは給食の裏話。毎回狂う登校生徒の人数に、てんてこ舞いする給食係りのお弁当の準備。何んとかならないかな。一時間目社会「村松藤三郎異人伝？」村松達雄先生。森町発展の基礎を築いた偉人伝を。二時間目家庭科「木登りはサルにまかせて漬け物石に？」森下幸子先生。山里での自然の恵みに包まれての四季の営みを。草木染めの披露も。三時間目国語「ちよつとやりすぎたけど：モリの再生?!」榊原淑友先生。放置された人工林は生物の危機でも。山中幸子校長。訓話もすっかりめだかの魅力に浸って伸び伸びと、8時すぎのバラ事務局の到着まで奮闘してくれた。事務局からのお知らせは簡単にして、給食の時間に入る。毎回のことながら給食当番が前に出て自分たちがタッチした料理の説明。つまみ食いだ

けの生徒も。早めに登校して手伝ってくれた生徒のおかげさまもあって、今回も美味しい食事をいただきました。感謝。感謝。私語飲食全て禁止の次回3役発表。

第68回は6月4日。校長服部守孝、教頭鈴木偉代、用務員牛田松雄。校長、教頭、身体も重そうに『ヨイシヨ』。高齢者2人を支えるのは若者しかないと、用務員に名古屋から参加の牛田松雄メダカを当てる。老夫婦を支える息子の図。17年も経つと「めだかの学校」も時の流れに抗しきれない。3役のあと給食当番の指名。年に一度ぐらいは：と思うがなかなか。なんと10名に。最後はみんな輪をつくって再会を。

第68回のめだかの学校の職員会議を、4月15日に磐田市の元氣村「味里」で開く。校長服部守孝、用務員牛田松雄は出席したが、教頭の鈴木偉代は欠席。「富士宮の山の中からの出席は大変だから、いいよ」と。

今回の授業は自由人選に、斉藤昭メダカの「技術を！」の熱意もあって、一時間目技術「ホンダのたたきあげ」大谷洋介。雑談の中から牛田用務員の田中きみ子メダカの経営するコンビニから一億円がつづけて出た。だから、二時間目社会。必ず当たります心掛け次第で。田中きみ子先生。三時間目は、ひき蛙の話も面白いと、三時間目は理科「ひき蛙、負けるな村松ここにあり」村松孝司先生に決まる。テーマは「い・い・加・減の三遠南信」浜松・新城・袋井市と。とってつけたようなテーマの決め方。これも又、めだか流なのである。

■毎号、お詫びとお礼を

相変らず発行日もすきても書けない。言い訳もする気も失せて：まさに老化？。鈴木武史メダカ、石野省三メダカ、伊藤英雄メ

ダカ、内田貴久元メダカに、原稿を依頼してあるので：残りを頑張ろうと。本島慎一郎メダカ、間瀬亮太メダカさんからお話をかけてますが、よろしくね、ありがと！。生徒の皆さん、「ごめん！」。

■第17期は22年8月31日までです
開校は、第68回を以って17期は終わります。継続手続きがなされていない生徒は、自主退学となりました。

■第18期の受付を、

第68回の開校日より始めます
18期は、22年9月1日より23年8月31日までです。随時申し込みは受け付けますが、出席できなかつた生徒は、8月31日までには郵送するか持参してください。継続手続きはいつでもできますが、手続きを怠ると、名簿からはずれ自主退学となります。ご注意ください。また入学希望者がありましたらご連絡下さい。申込書と資料を送ります。

■めだかの学校だよりの原稿を！

次回の発行日は平成22年8月1日、原稿の締切りは7月21日です。事務局まで郵便かFAXで。メールの方は、

《mabuchi-trd@yr.tnc.ne.jp》

間瀬亮太090・5009・0986です。
(メールの方は割付の関係もあるので「報を」)

■めだかの学校の事務局

〒438・0105静岡県磐田市家田52
9番地20 榊原幸雄方 TEL053
9・62・6691 (FAX同じ)

※学舎「みどりの郷」には電話はありません。連絡・お問合せは事務局へ。

